この見本の見方

がくえんデスクは、毎月届く**基本の報告**に、学校と事前に決めた時期に**特別分析**（年3回・料金内）を足していく年間パッケージです。どれも**学生の確保**（出願・入学）につながる問いに答えます。

種類	学校の問い	使う記録	この見本
基本（毎月）いつ、何が動くか	受験生はいつ、何を調べ、いつ申し込むか	Web検索・LINE・問い合わせ・OC予約の日時	4ページ
基本（毎月）受験生の言葉	何を、どんな言葉で探しているか	Web検索・チャット・電話・メール	6ページ
特別分析 なぜ出願しなかったか	関心を持ってくれた人が、なぜ出願まで来なかったか	OCアンケートの記述＋出願したかどうか	2ページ
特別分析 なぜ選ばれたか	入学した人の決め手と、比べた相手	入学時アンケート（決め手・併願先）	3ページ
特別分析 保護者は何を気にしているか	本人と保護者で、気にすることは違うか	OCの保護者アンケート、電話・メール	5ページ

年間の流れの例

特別分析を足す月は、契約のときに学校の入試日程に合わせて決めます

月	基本（毎月）	この月に足す特別分析
4月	毎月の報告	（年間の計画を相談）
5月	毎月の報告	**なぜ選ばれたか**（入学時アンケート）
6〜8月	毎月の報告	—（オープンキャンパスの季節）
9月	毎月の報告	**保護者は何を気にしているか**（夏のOCのあと）
10月	毎月の報告	—（総合型・学校推薦型の出願）
11月	毎月の報告	**なぜ出願しなかったか**（総合型・推薦の分。一般選抜の前に手を打つ）
12〜2月	毎月の報告	—（一般選抜）
3月	毎月の報告＋**年間のまとめ**	—

特別分析は年3回までを年間パッケージの料金に含みます。学校がお持ちの記録によって、入れる分析と時期を変えます（出せない記録の分析は入れません）。

書き方の決まり（共通）

- **事実** データから直接言えること　**比較** 複数のデータを並べて言えること　**仮説** 可能性の提案（結論ではありません）
- 仮説には、根拠の件数と確かめ方を添えます。変化がない月は「大きな変化なし」とお伝えします。
- 「入学者が増えた」「効果があった」とは書きません。お示しするのは、減る理由・選ばれる理由・時期の材料です。

特別分析　なぜ出願しなかったか

事実　オープンキャンパスに来た人のうち、出願した人

OC参加者（アンケート回答）	11月までに出願	出願した割合	まだ出願していない人
420人	156人	37%	264人
6〜9月の6回	総合型・推薦	総合型・推薦の締切（10月30日）まで	一般選抜（1月〜）で出願できる人たち

比較　アンケートの記述に出てきた話題

出願した人／しなかった人それぞれの中で、その話題に触れた人の割合

話題	出願した人	出願しなかった人	差
学費・奨学金	12%	33%	+20pt
通学・アクセス	7%	23%	+16pt
寮・一人暮らし	4%	14%	+10pt
入試の方法	12%	10%	-2pt
海外研修・短期留学	9%	7%	-2pt
資格・実習	29%	17%	-12pt
キャンパスの雰囲気	26%	11%	-15pt
就職（就職率・就職先）	33%	19%	-15pt

差は「出願しなかった人の割合 − 出願した人の割合」。プラスが大きい話題ほど、出願しなかった人に多く出ています。

仮説　出願につながらなかった理由

提案であり、結論ではありません

仮説A　「学費・奨学金」の不安が、OCの場で解けていない

根拠：出願しなかった人の33%が「学費・奨学金」に触れていました（出願した人は12%）。記述の例：「2年間でいくらかかるのか、最後まで分からなかった」、「奨学金の話をもっと聞きたかった」

確かめ方：一般選抜の出願が始まる前（12月中）に、まだ出願していないOC参加者へ、学費の分納・奨学金の案内を届ける。届けたあとの一般選抜の出願を、3月の年間のまとめで追う。

仮説B　「通学・アクセス」で、比べている学校がある

根拠：出願しなかった人の23%が「通学・アクセス」に触れていました。記述の例：「家から1時間半かかるので迷っている」、「最寄り駅からのバスの本数が気になった」

確かめ方：「なぜ選ばれたか」（入学した人の併願先）と並べ、どの学校と比べられているかを見る。

出願した人に多かったのは「就職（就職率・就職先）」（33%）。記述の例：「就職の個別相談が手厚いと聞いて安心した」、「先輩の就職先に行きたい園があった」。出願しなかった理由そのものではなく、記述に出た話題の違いです。

特別分析　なぜ選ばれたか

事実　入学の決め手　入学者180人・複数回答

決め手	人数	割合
就職に強い（就職率・就職先）	73	41%
資格が取れる	67	37%
キャンパスの雰囲気・在学生	45	25%
通いやすさ	33	18%
学費の支援（特待生・奨学金）	31	17%
少人数・先生との距離	23	13%
海外研修・短期留学	19	11%
高校の先生・家族のすすめ	10	6%
入試の方法	8	4%

事実　併願した学校の種類と、比べた点

併願先	人数	割合	比べた点（記述に多かったもの）
4年制大学	69	38%	学費と期間（2年で資格が取れる）、就職までの早さ
ほかの短大	60	33%	実習先の多さ、学校の雰囲気
専門学校	35	19%	学位（短期大学士）が取れる、編入の道がある
併願なし	16	9%	はじめから決めていた

比較　「なぜ出願しなかったか」と並べる：前に出すことと、先に消す不安

入学した人の決め手（前に出すこと）
「就職に強い（就職率・就職先）」「資格が取れる」が上位。OCで出願した人の記述でも「就職」「資格・実習」「キャンパスの雰囲気」が多い（2ページ）。

出願しなかった人の不安（先に消すこと）
「学費・奨学金」「通学・アクセス」。入学した人の決め手では「学費の支援」は17%にとどまる。

仮説　学費の支援は、知られれば決め手になりうる
根拠：決め手に「学費の支援」を挙げた人は31人。一方、出願しなかった人の記述で最も多い話題は学費（2ページ）。支援の内容がOCや資料で伝わっていない可能性があります。
確かめ方：特待生・奨学金の案内が、OCの全体説明と配布資料のどこにあるかを確認する。次の入学時アンケートに「入学前に支援制度を知っていたか」を1問足す。

基本　いつ、何が動くか

事実 話題ごとの、月別のWeb検索

色が濃いほど、その話題の山

話題	6月	7月	8月	9月	10月	山
出願の方法・書類	62	63	62	60	188	**10月**
推薦で受ける方法	121	116	127	121	203	**10月**
総合型選抜	105	112	106	113	184	**10月**
学費（学納金）	204	205	200	210	248	**10月**
オープンキャンパスの日程・予約	151	203	198	189	86	**7月**
就職・就職先	144	137	132	144	134	**6月**

「出願の方法・書類」「推薦」「総合型選抜」は10月に山。「オープンキャンパス」は7〜9月。「学費」は月の合計では大きな山がありませんが、締切前の夜だけを見ると動いています（下）。

事実 OCの予約は、開催の何日前に入るか

6〜9月の6回・予約395件

開催の	予約	割合
当日〜3日前	174	44%
4〜7日前	96	24%
8〜14日前	77	19%
15〜30日前	45	11%
31日以上前	3	1%

比較 時期と時間帯から言えること

比較 告知の時期

予約の68%が開催の7日前以内、44%が3日前以内に入っています。2週間以上前の告知だけでは、申し込みの時期と合っていない可能性があります。

比較 出願の案内の時期

出願の検索は10月に前月の3倍以上になりました（60件 → 188件）。手順の案内は、山の前の9月中に出しておく余地があります。

比較 締切前の夜

総合型・推薦の出願締切（10月30日）の2週間前から、夜（21時〜朝6時）に「学費 分納」「延納」などを調べる人が**3.1倍**になりました（その前の2週間 11件 → 締切前の2週間 34件）。**締切の前の週に、学費の分納と奨学金の案内をLINEで配信する**余地があります。

2年目からは「去年の同じ月」との比較が加わります。1年目は、記録をためる年でもあります。

特別分析　保護者は何を気にしているか

事実　集めた声

本人の声
520件
OCアンケート（本人）・本人からの電話とメール

保護者の声
310件
OCの保護者アンケート・保護者からの電話とメール

見分け方
記録の種類と言葉
「娘が」「うちの子が」などで判定

Webの検索
対象外
本人か保護者か見分けられないため

比較　本人と保護者で、話題の割合はどう違うか

話題	本人	保護者	差
学費・奨学金	10%	30%	+21pt
寮・一人暮らし・安全	7%	18%	+12pt
就職	14%	23%	+9pt
通学・アクセス	11%	10%	-1pt
海外研修・短期留学	6%	2%	-4pt
入試の方法・日程	17%	7%	-9pt
キャンパスの雰囲気	14%	2%	-13pt
資格・実習	22%	8%	-15pt

差は「保護者の割合 − 本人の割合」。プラスは保護者に多い話題、マイナスは本人に多い話題です。

仮説　お金を出す人への説明が足りていない

保護者の声の30%が「学費・奨学金」（本人は10%）。保護者の言葉では「2年間の総額」、「入学時にいくら」、「一人暮らしの費用」が目立ちます。
確かめ方：保護者向けの説明会や資料に、2年間の総額と奨学金の返済の有無が一度で分かるページがあるかを確認する。

本人に多いのは

「資格・実習」（本人22%・保護者8%）と「キャンパスの雰囲気」。本人には資格・実習・キャンパスの雰囲気を、保護者には費用・就職・安全を、と伝え分ける材料になります。

事実 受験生の言葉 → 学校の言葉　言い換え表

6〜8月のWebの検索・チャットの質問から作成。数字は件数

受験生や保護者が調べるときの言葉と、学校の案内で使っている言葉を並べました。**正式な呼び方を変える必要はありません。**受験生の言葉を**見出しへの併記・サイト内検索の言い換え・パンフレットの目次**として足す使い方を想定しています。

話題	受験生の言葉（多い順）	学校の案内の言葉	受験生の言葉で調べた割合	そのまま使える場所
学費（学納金）	「学費」229、「学費 いくら」124、「授業料」90、「入学金」70	**学納金**	95%	学費のページの見出しに併記／サイト内検索の言い換え／パンフレットの目次
奨学金・学費の支援	「奨学金」174、「給付型 奨学金」92、「特待生」87、「学費 免除」67	**高等教育の修学支援新制度・特待生制度**	95%	奨学金のページの見出しに「給付型奨学金」を併記
推薦で受ける方法	「推薦」139、「公募推薦」78、「指定校推薦」71、「推薦 条件」57	**学校推薦型選抜**	95%	入試ページの見出しに「推薦入試」を併記
総合型選抜	「AO入試」150、「AO」83	**総合型選抜**	72%	入試ページの見出しに「旧AO入試」を併記
難しさ・倍率	「偏差値」174、「倍率」112、「難易度」71	**入試結果（志願者数・合格者数）**	93%	入試結果のページの見出しに「倍率」を併記
一人暮らし・寮	「寮」98、「一人暮らし」66、「学生マンション」33	**学生寮・提携学生会館**	95%	学生生活のページに「一人暮らし」の見出しを追加

使い方の例

いちばん上の行（学費）の場合

Webの見出し
今：「学納金」
例：「学費（学納金）」

＋

サイト内検索・チャット
「学費」「授業料」で調べたときに、学納金のページが出るよう言い換えを登録

＋

パンフレット
目次の「学納金」を「学費（学納金）」に

どれも、ページの中身を書き直さずにできる小さな変更です。どこまで行うかは学校でご判断ください。

この表の扱い

- 「学校の案内の言葉」は、学校のWebサイト・募集要項の公開情報から確認して記載します（見本では架空）。
- 言い換えを足したあとの問い合わせの変化は「打った手のその後」として毎月お示しします。ただし、変化の理由が言い換えによるものかどうかは、このデータだけでは決められません。

このデータで分かること・分からないこと

分かること

- 話題ごとの山の時期、予約の入るタイミング、締切前の夜の動き（基本）
- 受験生の言葉と、学校の案内の言葉のずれ（基本）
- 出願した人としなかった人で、記述に出る話題の違い（特別分析）
- 入学した人の決め手と、比べた学校の種類（特別分析）
- 本人と保護者で、気にすることの違い（特別分析）

このデータだけでは分からないこと

- 出願しなかった本当の理由（記述に出た話題は、理由そのものとは限りません）
- 案内を変えたことで、出願や入学が増えたかどうか
- 他の学校と比べた、貴学の位置（他校のデータは使いません）
- Webで調べたのが本人か保護者か

お預かりする記録と、個人情報の扱い

分析	記録	個人情報の扱い
基本	Web検索・LINE・チャットの記録、問い合わせ・OC予約の日時	個人情報を含みません。予約は件数と日時だけ
なぜ出願しなかったか	OCアンケートの記述と、出願したかどうか	学校側で**番号に置き換え**、氏名・連絡先を除いた形で。出願の有無は「はい・いいえ」だけ
なぜ選ばれたか	入学時アンケート（決め手・併願先）	氏名を除いた形で
保護者は何を気にしているか	OCの保護者アンケート、電話・メールの要旨	氏名・連絡先を除いた形で。残っていても分析の前に自動で伏せます

お預かりした記録は国内（東京）で処理し、原文は30日で削除します。残すのは、個人が分からない集計だけです。

はじめ方

段階	内容
1. 無料診断	直近1〜3か月分のWeb検索・チャットの記録で、基本の報告を一度お作りします
2. 年間の相談	お持ちの記録と入試日程を伺い、特別分析を足す月を決めます（年3回までを料金に含みます）
3. 毎月の報告	基本の報告を毎月。決めた月に特別分析を足し、3月に年間のまとめをお届けします